



## 写真で伝える初開催の室内陸上競技大会

2月28日(日)、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅において、『2021ジャパンアスリートゲームズインオオサキ』が開催されました。

トップアスリートに練習の成果を発揮する場とともに、延期された鹿児島国体に出場予定の選手らに、日本トップクラスの選手と競う場を提供しようと企画し、『大崎町陸上競技の聖地創り実行委員会』と鹿児島陸上競技協会の主催で開催されました。

オフイシャルメディアのMBC南日本放送が大会の様様をライブ配信するなど、大会はコロナ対策を講じながら無観客で実施されました。

リオテジャネイロ五輪代表の山縣亮太選手や女子短距離の鶴田玲美選手など全国からトップクラスの選手が参加したほか、県内のジュニアアスリートも参加しました。

種目は一般種目が7種目、パラ種目が2種目、ジュニア種目が2種目実施され、その内、男子100m、女子100m、男子110mハードル、女子100mハードルの4種目が室内競技の日本最高記録に輝きました。

初めて開催された室内陸上競技大会。大崎町の歴史に新たな1ページが刻まれました。